

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	御坊市立河南中学校	宇和正徳
学校所在地		
〒 644 - 0025 和歌山県御坊市塩屋町北塩屋300 tel 0738(22)0749 fax 0738(23)4700		
担当者名		役職名・担当教科
沖野 光／嶋田敏治(兼任)／大倉志織		3学年担当(教諭)・体育／美術／社会
〔学校の概要〕○全校生徒101人(1年33名・2年32名・3年36名)		
☆学校教育目標「知・徳・体 調和のとれた生徒の育成」		
御坊市街地の南東部(日高川の東側)に校区がある。かつて、塩屋地区は漁業、野口地区は農業が中心であったが、近年は会社勤めが増えている。校区にはいくつかの神社(王子神社・熊野(竹)神社)があり、この2年は神事のみであったが、秋の例大祭では地域の人々が集まって、大変な賑わいを見せる。 生徒数はここ数年かなり減少している。生徒たちは大変真面目で、授業・行事・部活動に意欲的に参加している。 本校の教育計画には、具体的実践の一つとして「豊かな心の育成」の中で、地域社会の教育資源の活用を掲げており、地域教材・地域人材の活用の充実をはかるべく、各学年において講師を招いたり地域の人の講話を聞くなどの取組みを行っている。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等(延人数)	主な活動場所
3学年 3年生 36名	3名 職員 3名	本校・和歌山県世界遺産センター・熊野古道・熊野本宮大社
実践研究テーマ		
◎豊かな心の育成(地域社会の教育資源の活用)		
実践教科等名	単元名	
道徳・総合的な学習の時間 (河南タイム)	(道徳)「昔と今を結ぶ糸」・・・日本の伝統文化 (総合)校外学習～体験を通して歴史を学ぼう～	
〔キーワード〕 世界遺産・日本の伝統文化・奉仕の精神・自然を愛する心		
〔単元目標〕◎日本人としての自覚を深め、受け継がれてきた歴史や伝統文化の素晴らしさを理解し、発展させようとする心情を培う。 ◎和歌山県にある世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、より深く学ぶ。 ◎体験活動を通じて、世界遺産の意義・日本の伝統を守る心を育てる。 ◎人間が自然の中で生かされていることに気づき、自然を尊び、愛護に努めようとする態度を育成する。		
〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕		
全体 10 時間		
◎道徳:「昔と今を結ぶ糸」 中学道徳 あすを生きる3(日本文教出版) 1時間		
◎「世界遺産について知る」/和歌山なんでも帳(県教育委員会発行) ビデオ教材 2時間		
◎校外学習・世界遺産センターにて、講義・熊野古道を歩く・道普請 6時間(1日)		
◎事後指導・・・世界遺産センターおよび熊野古道で学んだこと・感想を書く。 1時間		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
◎本校校区内及び御坊市内の人材を活用する。1年次には地震・津波・防災について阪本尚生氏より講義・調べ学習を行った。2年次には異なる職種の6名の講師による職業講話を実施した。 ◎3年次では、12月に和歌山高専の留学生との交流を予定している。 ◎地域学習として、県内の市町村について調べ学習を行った。 ◎和歌山県世界遺産センター・世界遺産マスター(次世代育成事業)		

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「昔と今を結ぶ糸」</li> <li>① 伝統文化を理解・尊重し、新たな文化を創造していくには？</li> <li>② 地域の身近な歴史や伝統について、意見を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統文化の継承のために払った先人の努力について知らせる。自分たちの地域についても振り返ってみる。</li> <li>・ 自分たちの修学旅行でも学ぶべきことも考えてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の伝統文化を知ることそれを守ることの意義を実感できたか。(ワークシートなど)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊野古道について(その1)</li> <li>○ 熊野古道の位置・歴史について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近なところにある世界遺産について、あらましのイメージを持たせる。</li> <li>・ 今までの体験などを生徒同士で交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 和歌山県にある世界遺産に興味を持って取り組めていたか。(観察)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊野古道について(その2)</li> <li>① 熊野古道のルートについて知る</li> <li>② 映像(道の様子、歴史等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和歌山県の地図等を使い、位置等を示し、方角や距離なども知らせる。</li> <li>・ ポイントになる部分は、映像を止めて説明を加える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古道に対する知識を深めることができたか。(観察・生徒同士の対話など)</li> </ul>
4 ～ 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界遺産の成り立ちとその意義について知る。</li> <li>・ フィールドワーク</li> <li>・ 道普請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全に気をつける。気になるスポットについては、その都度注意を向けさせる。</li> <li>・ 安全には十分気をつける。より積極的に作業ができるように声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 興味を持って講義を聴くことができたか。(観察)</li> <li>○ 道普請など、真面目に取り組むことができたか。(観察)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事後指導</li> <li>① 世界遺産とは？</li> <li>② フィールドワークの感想を書く。</li> <li>③ 校外活動全体を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートにそれぞれの感想・意見を書かせる。フィールドワークの行程を振り返りながら考えさせる。</li> <li>・ 自分の立場に立って考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界遺産についての意識を高められたか。</li> <li>○ 世界遺産の意義などをより深く考えることができたか(ワークシートなど)</li> </ul>

〔単元学習の成果と課題〕

<成果>

- ・ 生徒たちはとても興味深く積極的に学習活動に取り組んでいた。古道を歩くことで自然と歴史を感じながら今までにない体験をすることができた。
- ・ 道普請の活動の意義を身をもって学ぶことができた。ボランティア精神というものを味わうことができた。

<課題>

- ・ 生徒たちは、地域に残されている大切な文化に触れる機会が少ないように感じる。
- ・ まだコロナ禍による制約もあるが、今後は地域でのフィールドワークを体験できるような時間を作れればと思う。

〔世界遺産学習の効果〕

- ・ 後述の感想にも載せてあるが、世界遺産の必要性をしっかりと捉えている。社会の授業だけでは実感としてとらえにくい遺跡や名所も、違う視点でとらえることにより、より深く知ることができたのではないかと。
- ・ 和歌山県にも世界遺産があり、その壮大さの一部分でも目の当たりにできたことで、自然・文化の大切さ、それを守り続けることの意義を心に刻むことができたと思う。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

- ・ 本校の生徒のように、柔軟な感性を持っている世代に、今後もぜひ体験させてほしいと感じた。
- ・ バーチャル的な感覚の持ち主が多いので、学校などでも手軽に体感できるようなソフトなどがあると事前学習も深められるのではないかと。(教師も含め、事前学習がなかなかできないのが実情である。)

## 様式 2

令和3年度 次世代育成事業における学習記録  
◎生徒の感想 (抜粋)

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### 1・道普請(熊野古道の整備・補習)を実際に行って感じたこと。

・最初1tもの土を補修に使うと聞いたとき、とても驚きました。実際に体験をして、これまでも何度も道普請を繰り返し、今の歩くのが安全な熊野古道ができていたのだと思いました。道普請をすることは少し大変だけれど、多くの人々の「熊野古道を守りたい」という気持ちが続いているのだと感じました。

・土の入った1つの袋を運ぶのでも大変だと感じた。熊野古道の道を維持することができるのはたくさんの人々の協力と苦勞があったからだと思った。

・今は道具に頼ってばかりで、道を整備するなんて考えたこともありませんでした。実際に整備してみて大変でびっくりしました。機械がするのが当たり前になっているからこそ、いい体験ができたと思いました。



・世界遺産を守る力のひとつになれていると感じてうれしかった。いろんな人がこうして熊野古道を整備・補修してきたおかげで今まで世界遺産として維持されてきたことは素晴らしいことだと感じた。私たちの手で熊野古道の道をきれいにできてうれしかった。

・自分が思っているよりも大変でとてもやりがいを感じた。土を運ぶのがとても大変だった。たたいたり、踏んだりして土をかためるのが野球のマウンドをかためると同じ作業だったので楽しかった。

・はじめ、1tの土を運ぶと聞いた時絶対無理だと思いました。1tの土だと道とか階段とか、たくさん整備ができると思っていたけど想像と全然違いました。階段を約4段作るのにかかった土の量が1t。ちゃんと足やたこで土をかためたり、めっちゃ工夫されていると思いました。世界遺産の整備なんて普段できることじゃないのでうれしかったです。

・一つの階段を作るためでもとても力が要るなと思った。熊野古道を作るのにどれぐらいの時間がかかったんだろうと思いました。

### 2・校外学習を体験して…感想をまとめよう！

・世界遺産講座を聴いて、世界遺産が日本に25個あると知ることができました。熊野古道は、知り、学び、守り、歩くことが大切なんだと思いました。道普請をして、とても貴重な体験をすることができたのでとてもうれしかったです。私たちが道普請した場所が、これから歩く人たちにとって少しでも安全に歩ける場所になればいいなと思いました。熊野古道を歩いて、昔の人はこれ以上の長い道のりを歩いて参拝していたんだと思い、参拝するまでの努力や強い思いに感動しました。

・今まで世界遺産については、「この場所きれい!」「自然 or 昔の人ってすごい!」と思っていたけれど、今の時代に生きるたくさんの方の支えを知って、世界遺産について「人ってすごい!」と思った。世界遺産はたくさんの方の努力が認められたものでもあったと思う。色々な世界遺産をめぐりたいと思った。

・世界遺産は前からすごいと思っていたけど、この校外学習でたくさんの方の努力があって登録されているんだなとも思いました。昔からたくさんの方々に歩かれて熊野古道ができたんだなと感じた。実際に歩いて熊野本宮大社に着いたとき、今の道路とか車がすごく便利でありがたいなと思った。

・本当にいい体験になった!熊野古道はたくさんの方々に支えられていると感じた。本当に整備は大変だったけど、その後そこを歩いたときとても歩きやすくなってうれしかったし、とてもやりがいを感じた。歩いているときはマスターさんが分かりやすく説明してくれて楽しかった。初めて山の中をいっぱい歩いた。マスターさんのおかげでたくさんの方のことを学ぶことができた。そして、この体験を通して世界遺産の貴重さや遺産を守ることの大切さがわかった。これからもずっと続いてほしい。

・世界遺産という今まではその場所やもの自体のことだけを言っていると思っていたけど、人々が協力して世界遺産にしようとして努力したことなどを世界遺産と呼ぶということを知り、世界遺産は多くの方々の思いそのもののような気がした。とても奥が深いなと感じた。世界遺産は守っていくことが大変だと知り、今までたくさんの方々が守ってきた努力のおかげで今もきれいな世界遺産として保たれているのだなと感動した。私たちがこのような人々の意志を受け継ぎ、次の世代へと継承していくことが私たちの使命だと強く思った。私もこの力の一部になって、きれいな世界遺産を残す活動に少しでも参加できればいいと思う。

・熊野古道はきれいだった。でも歩くのはとてもしんどかった。昔の人は自分たちが歩いたのより長い道のりを歩いていて聞いて驚いた。紀三井寺まで続く道もあって驚いた。昔の人は今みたいな良い靴ではなく、わらじをはいてこの熊野古道を歩いていたということを知って、大変さと偉大さがよくわかった。

・最初熊野古道の整備・補修しに行くときいやだなと思ったけど、やってみたら意外と楽しかったです。土を運ぶのは大変だったけど、みんな協力してとてもきれいに補修することができたのでうれしかったです。熊野古道を歩くときは、世界遺産マスターが案内してくれたのでとても勉強になりました。杉とひのきの違いやお地蔵様のことについて詳しく教えてくれました。私たちの班の世界遺産マスターは歩くのが速くてついていくのに必死でした。でも、いくつか問題を出してくれたりして、とてもおもしろかったです。熊野古道について詳しく知れたので、さすが世界遺産マスターだなと思いました。

